



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社

コード番号 4112 URL <http://www.hodogaya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 喜多野 利和

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 松野 真一

TEL 03-6430-3631

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,510	14.9	411	26.2	330	78.5	932	—
23年3月期第1四半期	7,408	3.3	325	—	185	—	60	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 951百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △135百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	11.78	11.77
23年3月期第1四半期	0.77	0.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	51,113	28,030	53.1
23年3月期	48,225	26,971	54.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 27,147百万円 23年3月期 26,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	14.7	700	△16.0	400	△22.1	1,100	989.7	13.91
通期	38,000	13.6	2,400	△0.9	1,600	△10.9	2,000	255.0	25.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	84,137,261 株	23年3月期	84,137,261 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	5,035,016 株	23年3月期	5,033,782 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	79,103,019 株	23年3月期1Q	79,114,389 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[機能性色素セグメント]

電子材料事業は、顧客の需要鈍化や、円高および価格競争の激化により、減少いたしました。
色素材料事業は、紙パルプ用・繊維用染料が、長期低迷傾向の継続により、減少いたしました。アルミ着色用・文具用染料が、海外需要の伸長で増加したことにより、前年同期並みとなりました。
有機EL材料事業は、モバイル用ディスプレイ向けの需要が伸び、増加いたしました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、22億88百万円となり、前期比8百万円（0.4%）の減収となりました。

[機能性樹脂セグメント]

樹脂材料事業は、PTG（ウレタン原料）が、国内・海外とも需要が伸びたことに加え、接着剤もアジア向け輸出が好調に推移したことにより、増加いたしました。
特殊化学品事業は、樹脂関連・医薬品分野とも需要が伸び悩んだことにより、前年同期並みとなりました。
建築材料事業の材料販売は、ウレタン系防水材分野で、依然として厳しい価格競争が続いており、減少いたしました。
一方、防水・止水工事は、防水工事の大型物件の獲得があり、増加いたしました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、28億1百万円となり、前期比3億29百万円（13.3%）の増収、となりました。

[基礎化学品セグメント]

過酸化水素は、主力の紙パルプ・工業薬品分野とも、東日本大震災の影響による需要の落ち込みで、減少いたしました。
過炭酸ソーダも、同様の影響で、生産の復旧が遅れたことに加え、一時的に海外品の流入が増加し、減少いたしました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、18億56百万円となり、前期比2億15百万円（10.4%）の減収、となりました。

[アグロサイエンスセグメント]

アグロサイエンス事業は、昨年の春先のような天候不順の影響がなく、家庭園芸用および農耕地用除草剤の需要が回復したことに加え、関連会社の再編に伴う連結子会社化により、増加いたしました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、12億38百万円となり、前期比10億30百万円（497.2%）の増収、となりました。

上記の結果、当第1四半期連結会計期間（4～6月）の売上高は、85億10百万円となりました。
また、損益面では、営業利益4億11百万円、経常利益3億30百万円、四半期純利益9億32百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末（6月末）における資産合計は、511億13百万円となり、前連結会計年度末（3月末）比28億87百万円の増加となりました。
資産の増加の主な要因は、投資有価証券が11億20百万円、有価証券が5億円減少した一方で、無形固定資産の増加22億84百万円、たな卸資産の増加15億45百万円によるものです。
負債は、前連結会計年度末比18億28百万円の増加となりました。
その主な要因は、短期・長期借入金の増加14億70百万円、支払手形及び買掛金の増加4億70百万円によるものです。
純資産は、前連結会計年度末比10億58百万円の増加となりました。
その主な要因は、利益剰余金の増加6億15百万円、少数株主持分の増加4億10百万円によるものです。
以上の結果、自己資本比率は53.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間および通期ともに、平成23年5月13日に発表した平成24年3月期の予想に、変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(ご参考)

当第1四半期連結会計期間より、保土谷化学韓国株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

SFC Co.,Ltd.(韓国)は株式を追加取得し、50%超の子会社となったため、また、株式会社日本グリーンアンドガーデンの会社分割により設立した保土谷アグロテック株式会社の株式を取得し、子会社となったため、持分法適用の範囲から連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

前連結会計年度に計上した災害損失引当金につき、当第1四半期連結会計期間において、一部について実績が確定したため、見積金額との差額を収益として認識しました。

これにより、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前当期純利益が、90百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,977	6,441
受取手形及び売掛金	10,919	10,895
有価証券	500	—
商品及び製品	2,740	3,436
仕掛品	143	538
原材料及び貯蔵品	952	1,406
繰延税金資産	397	400
その他	381	402
貸倒引当金	△9	△24
流動資産合計	22,002	23,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,612	5,664
土地	11,179	11,194
その他（純額）	2,613	2,843
有形固定資産合計	19,405	19,702
無形固定資産		
のれん	507	2,839
その他	525	477
無形固定資産合計	1,033	3,317
投資その他の資産		
投資有価証券	4,412	3,291
長期貸付金	2	16
繰延税金資産	15	21
その他	1,529	1,444
貸倒引当金	△174	△176
投資その他の資産合計	5,784	4,597
固定資産合計	26,222	27,616
資産合計	48,225	51,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,329	4,799
短期借入金	5,418	5,838
未払法人税等	240	91
災害損失引当金	482	270
その他の引当金	547	345
その他	1,800	2,155
流動負債合計	12,818	13,500
固定負債		
長期借入金	4,232	5,282
引当金	266	283
繰延税金負債	1,704	1,714
再評価に係る繰延税金負債	1,632	1,632
その他	600	668
固定負債合計	8,436	9,582
負債合計	21,254	23,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	9,590	9,590
利益剰余金	4,933	5,548
自己株式	△1,692	△1,693
株主資本合計	24,027	24,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	167	188
繰延ヘッジ損益	△14	△13
土地再評価差額金	2,378	2,378
為替換算調整勘定	△59	△47
その他の包括利益累計額合計	2,472	2,505
新株予約権	41	41
少数株主持分	430	841
純資産合計	26,971	28,030
負債純資産合計	48,225	51,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,408	8,510
売上原価	5,149	5,999
売上総利益	2,259	2,510
販売費及び一般管理費	1,933	2,099
営業利益	325	411
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	43	43
持分法による投資利益	6	11
雑収入	70	54
営業外収益合計	122	109
営業外費用		
支払利息	60	45
退職給付費用	76	76
雑損失	125	68
営業外費用合計	263	190
経常利益	185	330
特別利益		
固定資産売却益	7	0
貸倒引当金戻入額	58	—
災害損失引当金戻入額	—	90
段階取得に係る差益	—	622
抱合せ株式消滅差益	—	54
特別利益合計	65	767
特別損失		
固定資産除却損	2	3
投資有価証券評価損	138	16
災害による損失	—	79
その他	—	0
特別損失合計	141	98
税金等調整前四半期純利益	109	998
法人税等	80	80
少数株主損益調整前四半期純利益	29	918
少数株主損失(△)	△31	△13
四半期純利益	60	932

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29	918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161	20
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△4	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	—	25
その他の包括利益合計	△164	32
四半期包括利益	△135	951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△103	964
少数株主に係る四半期包括利益	△31	△13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	109	998
減価償却費	335	356
のれん償却額	83	56
引当金の増減額 (△は減少)	△140	△317
受取利息及び受取配当金	△45	△44
支払利息	60	45
持分法による投資損益 (△は益)	△6	△11
為替差損益 (△は益)	0	△26
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△622
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△54
固定資産売却損益 (△は益)	△7	△0
固定資産除却損	2	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	138	16
ゴルフ会員権評価損	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,133	1,190
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△289	△398
仕入債務の増減額 (△は減少)	△68	△234
その他の資産・負債の増減額	22	120
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△121	72
その他	3	△11
小計	1,208	1,137
利息及び配当金の受取額	61	44
利息の支払額	△63	△44
法人税等の支払額	△306	△196
営業活動によるキャッシュ・フロー	899	940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△142	△491
有形及び無形固定資産の売却による収入	7	0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
関係会社株式の取得による支出	△23	—
関係会社の減資による収入	60	—
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	0	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,172
その他	4	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94	△1,668

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	109	△380
長期借入れによる収入	—	1,410
長期借入金の返済による支出	△731	△350
配当金の支払額	△0	△0
少数株主からの払込みによる収入	—	5
少数株主への配当金の支払額	△7	△5
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△3	△0
リース債務の返済による支出	△1	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△634	673
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	165	△61
現金及び現金同等物の期首残高	8,642	6,476
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△78	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	25
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,729	6,440

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当第1四半期連結累計期間より、当社の報告セグメントは、「機能性色素」「機能性樹脂」「基礎化学品」「アグロサイエンス」としております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び営業利益又は営業損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	2,296	2,472	2,072	207	7,048	360	7,408	—	7,408
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	15	—	—	15	168	184	△184	—
計	2,296	2,487	2,072	207	7,063	529	7,592	△184	7,408
営業利益又は 営業損失 (△)	149	79	159	△135	252	74	326	△1	325

(注1) 各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・ウレタン系及びセメント系各種建築土木用材料

PTG (ウレタン原料)、一般化学工業用基礎原料等

(3)基礎化学品・・・過酸化水素等

(4)アグロサイエンス・・・農薬原体、製剤等

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び営業利益又は営業損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	2,288	2,801	1,856	1,238	8,185	324	8,510	—	8,510
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	11	3	—	14	175	190	(190)	—
計	2,288	2,813	1,860	1,238	8,200	500	8,700	(190)	8,510
営業利益又は 営業損失 (△)	177	92	63	27	362	51	414	(3)	411

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン系及びセメント系各種建築土木用材料
PTG（ウレタン原料）、一般化学工業用基礎原料等
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素等
- (4)アグロサイエンス・・・農薬原体、製剤等

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機能性色素」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間にSFC Co., Ltd. (韓国)の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、2,198百万円であります。

「アグロサイエンス」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に保土谷アグロテック株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、180百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。